

タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4614		
科目名	危機管理特殊研究 4		
担当教員	金山 泰介		
対象学年	4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 5		
講義室	1316	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	6 専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L[協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M[省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1学識と専門技能 50% F1探求と論拠 10% J2創造的思考10% K1ライティングコミュニケーション 10% L1チームワーク10% M1統合的・応用的学修10%		
教員の实務経験	警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を踏まえて、社会安全政策の調査研究を具体的に指導します。（第2～14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成につながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、各自の研究テーマで研究計画に基づいたレポートを執筆し、完成させるための論文指導を行います。授業形態は、演習形式で行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：社会安全政策・犯罪・事故		

授業の趣旨	■副題 社会安全政策の新たな地平を拓く。 ■授業の概要 現代社会の中にある社会安全政策の課題を探究し、その対策を研究する。 ■授業のポイント 各種メディアによって報道される様々な社会問題から鋭敏な感覚で社会安全政策の課題を探り当てること。	
総合到達目標	■一般目標（GIO） リスクマネジメントの要諦の一つである問題発見能力を身に付け、その解決へのプロセスを提示できる。 ■個別行動目標（SBOs） ・社会科学系の学術論文を作成できる。（第12～14回）	
成績評価方法	■研究論文（80%）：適用ルーブリック E1・F1・J2・K2・M1 （評価の視点） 独自性のある内容を評価します。論旨の明解さ、表現力も評価します。 （フィードバックの方法） 報告後に個別指導を行います。 ■授業における個別質問への回答内容等授業参加度（20%）：適用ルーブリック E1・L1 （評価の視点） 授業への準備程度を評価します。 （フィードバックの方法） 授業内で講評します。	
履修条件	警察制度、社会安全政策論履修者が望ましい。	
履修上の注意点	社会安全政策に関する報道に関心を持って積極的に接するなど情報収集に努めてください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 演習の実施要領、評価方法等についての詳細を理解する。 ③予習（60分）事前配布資料の精読 ④復習（180分）論文構成の検討
	2	①授業テーマ 論文構成の講評 ②授業概要 各自が提出したレジュメについて教員の実務経験を踏まえて具体的に講評する。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）レジュメの作成、提出 ④復習（120分）講評に基づきレジュメの修正。
	3	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）論文執筆。 ④復習（120分）指導に基づき論文を修正する。
	4	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）論文執筆。 ④復習（120分）指導に基づき論文を修正する。
	5	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）論文執筆。 ④復習（120分）指導に基づき論文を修正する。
	6	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）論文執筆。 ④復習（120分）指導に基づき論文を修正する。
	7	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。（E1・F1・J2・K1・M1） ③予習（120分）論文執筆。 ④復習（120分）指導に基づき論文を修正する。

	8	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。 (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	9	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。 (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	10	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。 (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	11	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。 (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	12	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	13	①授業テーマ 論文指導 ②授業概要 個別に論文について教員の実務経験を踏まえた具体的な指導を受ける。 (E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文執筆。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	14	①授業テーマ 論文発表 ②授業概要 個別に論文について各自発表する。(E1・F1・J2・K1・M1) ③予習(120分) 論文発表準備。 ④復習(120分) 指導に基づき論文を修正する。
	15	①授業テーマ 論文発表 ②授業概要 個別に論文について各自発表する。(E1・F1・J2・L1・M1) ③予習(120分) 論文発表の準備 ④復習(120分) 指導に基づき、論文を修正する。
関連科目		危機管理基礎演習Ⅱ(RMGT2602) 危機管理特殊研究1～3(RMGT4611～3)
教科書		「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房(2019) 「最新公用文用字用語例集」ぎょうせい(2010)
参考書・参考URL		「社会安全政策論」警察政策学会編 立花書房(2018)
連絡先・オフィスアワー		■連絡先 初回授業時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限(重複を避けるためメールで連絡願います) その他の時間でもメールで事前アポをとることにより、研究室で対応します。
研究比率		■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ(70%) 災害マネジメント(10%) グローバルセキュリティ(10%) 情報セキュリティ(10%) ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学(70%) 法学(30%)

